

Title	計算機業界における互換機ビジネスの研究
Sub Title	
Author	石関佳志(Ishizeki, Kiyoshi) 柳原一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1989
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1989年度経営学 第662号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0662">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0662</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 計算機業界における互換機ビジネスの研究

情報産業の中でも最先端の技術を駆使しているのがコンピュータ産業である。多くの発明がされ、様々な技術進歩が明らかになっている産業ではあるが、実際の市場における競争は、この産業の特殊性により興味深いものとなっている。この興味深いと考えられる視点こそ互換性である。この互換性は市場に参入する際の大きな障壁にもなるが、最大限に利用することにより、市場において急成長を生む画期的な戦略の要素に変身するのである。その過程、及びこのような特殊性が存在する背景を過去の歴史の分析と現在の産業構造の分析などから明らかにし、互換機戦略を企業戦略に掲げている企業に対して提言ができるフレームワークを考え出そうと挑戦したのが本論文である。更にユーザサイドにたった分析を中心にしたことも挑戦と言えよう。

結論として市場の環境や市場の特性も大切であるが、この産業の場合、経営資源が大切であり、他の産業に比べて第1参入者の利得が非常に大きいことがわかった。また第2参入者が生き残るための条件についても考察ができた。更に市場を変化させる大きな力としてソフトウェアが重要であることも認識できた。特にソフトウェアに対するニーズ、満足度、供給量などが計算機市場の形成に影響を与えるのである。